



ROTARY INTERNATIONAL

ガバナー月信

1989年4月20日

No.11

Governor's Monthly Letter

ロータリーに
活力を
あなたの
活力を



国際ロータリー第276地区 DISTRICT 276
 ガバナー 高 沢 隆 Governor Takashi TAKAZAWA
 〒440 豊橋市花田町石塙42-1 42-1, ISHIZUKA, HANADACHO
 豊橋商工会議所内 TOYOHASHI, JAPAN PC 440
 PHONE 0532-55-8222 PHONE 0532-55-8222
 FAX 0532-53-6447 FAX 0532-53-6447

『雑誌月間』——4月

『ソウル国際大会』——5月21~24日

豊橋ゴールデン・ロータリークラブ
盛大な認証状伝達式を挙行!!



大野ゴールデンロータリークラブ会長自作の絵を高沢ガバナーに感謝贈呈

フィリッピンD.381地区大会に参加して ——ガバナー 高沢 隆

3月1日、10時名古屋空港発、台北香港を経由して、18時15分マニラ着。夏服に着替えて出かけたが、さすがにマニラは暑い。

今度のD.381地区大会の参加者は次の7名であります。

ガバナー 高沢 隆 (豊 橋)

パスト・ガバナー 福田 浩三 (名古屋空港)

パスト・ガバナー 田中 徹 (半 田)

国際奉仕副委員長 加藤 博 (一 色)

世界社会奉仕委員長 水野 勝之 (名古屋北)

世界社会奉仕委員 安藤 幸治 (名古屋空港)

世界社会奉仕委員 杉浦 三郎 (半 田)

空港から、マカティウェストクラブ会長宅で行われたパーティーに出席。マニラホテル泊



空港にてフィリピンのメンバーの歓迎をうける

3月2日、D.381の地区大会オープン。ガバナー主催朝食会に出席。

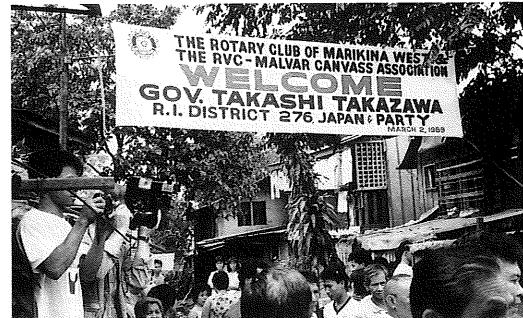
9時より17:00までD.380の国際奉仕委員長の案内にて、D.276の援助したプロジェクト数ヶ所を訪問

①マンダルヨングR.C.による、自動車修理の職業訓練所

②パシングサウスR.C.のクリニック

③マリキナウエストR.C.の貧民地区に対する内職斡旋活動。(R.V.C.)

④カロータンR.C.のライ病院援助



貧民地区の歓迎風景

⑤ヴェレンズエラR.C.のクリニック

夜は、D.380ガバナー招待の夕食会に出席。

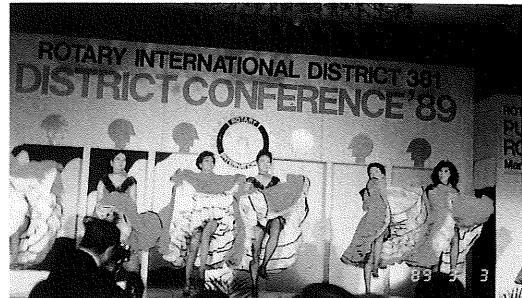
3月3日、9時30分より行われたD.381の地区大会に出席。R.I.会長代理はオーストラリア人のマックアーレン。席上、オスキーガバナーより、D.276のW.C.S.活動に対して感謝状の贈呈あり。又オスキーガバナーはそのスピーチのなかで、D.276から毎年多くの援助をうけている報告と感謝の言葉を述べた。私はD.276を代表して、挨拶の述べる機会を与えられた。国際的な席上でのスピーチは初めてであったが、ミミー通訳さんのおかげでこの大役を無事果すことが出来た。

本大会最大のハイライトは何と云ってもアキノ大統領の出席であった。フィリッピンの地区大会への参加は、今回が初めてとのことである。



高沢ガバナーのスピーチ

入場する
アキノ大統領



D.381のご夫人の“カンカン”

約25分のスピーチは、ロータリーに対するお礼と青少年プログラムに対する協力要請であった。私は幸いにもアキノ大統領と握手する機会に恵まれたが、それにこやかな笑顔と毅然とした風格に接し得たことは、忘れ得ぬ思い出となった。

3月3日、午後、D.381のW.C.S.プロジェクトを視察

- ①バグンバヤンR.C.の栄養失調児給食センター
 - ――
 - ②マカティサウスウェストR.C.の身障者養護学校
 - ③バラニヤケR.C.の援助する地方病院、三つ口患者の治療
- 田中P.G.はこの病院に携帯用のレントゲンを寄贈された。

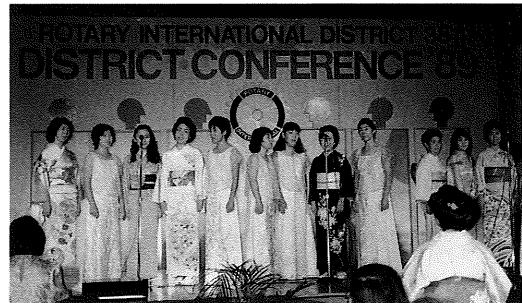


田中P.G.よりレントゲンの目録贈呈

3月3日、19時より大会晩さん会に出席、数々の催しあり、楽しい夜であった。

3月4日、市内観光、夕食は世話をいただいたエリックご夫妻と日本料理店でお別れパーティ。21時より大会の閉会式出席。

3月5日、D.382の皆さんと朝食会。13時10分



日本人のご夫人の合唱

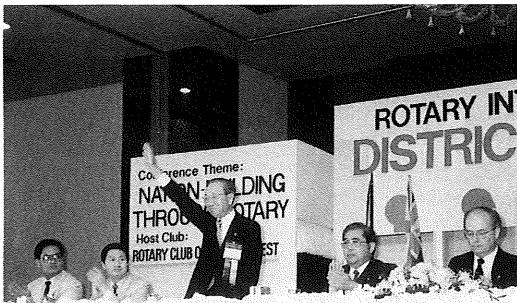
マニラ発、台北経由にて20時30分名古屋空港着。日本はやはり寒かった。

むすび。私にとって初めてのフィリピンで、短かい期間であったが得るものは多かった。①フィリピンの地区大会は3日間にわたり終日プログラムが組まれ、殆んどの会員が帰らずに出席していたこと。②フィリピンの現状にふれることが出来たこと。アキノ大統領が“2億人の生活出来る領土と資源がありながら、6千万人が現実に飢えている”と述べたとのことであるが、政治経済の課題は大きい。③D.276は本年度、台風災害救援金を加え、地区としては多額の援助をしたが、これも大海に石を投じた様なものであったかも知れない。然しW.C.S.活動を通して、フィリピンのロータリアンとの友情を深め、フィリピン民衆と接することが出来たことは、国際親善の上で大きな役割を果し得たとも思われた。④今回の旅行には、福田、田中両P.G.が特別にご参加いただき、加藤、水野、安藤、杉浦の経験豊富なメンバーのご案内により、楽しく有益な旅行が出来たことは望外の幸いであった。深く感謝申し上げます。

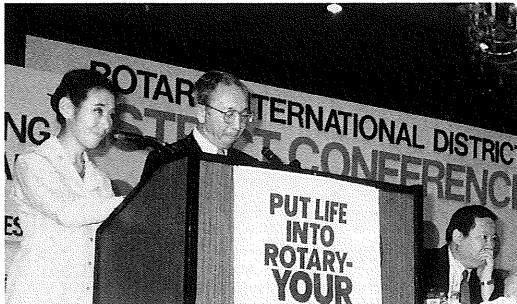
華麗なDISCONと心あたたまるWCS

パストガバナー 福田 浩三

- ① マニラホテルのD.381地区大会開会式にて歓迎にこたえる高沢ガバナー。その右がオスキーガバナー。その隣がビル会長代理（オーストラリアの牧師さん）。



② 2日目日本会議で演説中の高沢ガバナー。



- ③ アキノ大統領が地区大会の基調スピーチをされた。今大会の目玉であり、オスキーガバナーさん達も頑張ったものである。演説はロータリーの賞讃と共に、青少年夏季プログラム(PSYP)への協力要請であった。



- ④ マニラ市立病院の手術室にて。

一昨年当地区から贈ったポータブルレントゲンである。貴重な戦力とのこと。ちなみにCTは全マニラで、現在Chinese Hospitalに一台のみとのこと。真中の立派なご婦人は院長先生。「古くなって捨てるものでも何でもいいから送って欲しい」と懇願された。



- ⑤ 未就学や失業中の青年を対象としての自動車修理職業訓練所。

らい施設の豚飼育、施療診療所、縫製、身障施設その他多くを視察した。現地のロータリークラブの努力にも頭が下った。



比国における貧富の2極化は、政治的改善が最も急務であり、その過程に於いて我々のW.C.S.やR.V.C.活動も意義が高まると思う。

再びフィリピンへ

パストガバナー 田 中 徹

3月2日(木) 快晴、暑い。

今日はD.380の奉仕活動の視察、午前3ヶ所、午後2ヶ所。夜懇親会が予定されている。9時ホテル出発、先づ自動車の整備技術の習得状況を見る。貧しくて学校へも行けず職のない若者に技術を修めさせる援助をしていた。

10時45分、Pasing South R.C.のクリニックを見る。歯科であるが患者用椅子があるだけで治療は専ら抜歯である。

11時20分、Marikina West R.C.のビニール加工の援助を見る。クラブが資金を貸与し家内工業を育成するもので、これによりこの部落では1日1回しか食事が食べられなかつたが2回になったという。

昼食はMarikina West R.C.の例会場でクラブの人達と食べる。

午後1時30分マニラ郊外のKalookan R.C.のハンセン氏病へのプロジェクトを見る。広い夏野の中に患者や家族の楽園があった。3,000人の患者と15,000人の家族のコロニーで病院や学校、教会、商店まである。

ここでは患者や家族に豚を飼育させ生活の資

金に当てさせていた。

2時30分、Valenzuela East R.C.のクリニックを見る。医科、歯科の無料診療所で医師3名、歯科医師1名が交代で勤務、このクラブはこの奉仕に12万ペソを必要としていた。然し医科は机と椅子と聴診器のみ、歯科は椅子のみで医療用機材は何もない。せめて尿検査、血圧計でもあつたらと思った。

4時ホテルへ戻り汗を流して着換えD.380との夕食会に向う。

これは今回のマニラ訪問の或る1日である。これに3日間開かれたD.381の地区大会に出席した。連日、ホテルの自室に戻るのは深夜になった。然し大勢のロータリアンや夫人が歓迎してくれた。同期のパストガバナーとも互に肩を抱きながら旧交を暖めた。

そして3月5日、日本へ帰る日の朝、ホテルロビーでお目にかかったゾンタクラブのアナ・マリア会長(札幌1ゾンタクラブ)の「ぜひ見に来てやって下さい」「ぜひ彼らに会ってやって下さい」という言葉が印象的であった。

マリキナウエストR.C.の例会場



豊橋ゴールデン・ロータリークラブ認証状伝達式

かがやく空へ “翔けよ鵬!!”

会長 大野元三
実行委員長 石田喜運

豊橋ゴールデン・ロータリークラブはチャーターメンバー45名の会員で結成、地区内62番目のクラブとして去年11月17日国際ロータリーより加盟が認証され、早春の3月19日(日)、地区内外より1,119名のロータリアン及び家族の登録を得て、盛大に認証状伝達式を開催することが出来ました。

平均年令45.6才という若いクラブの門出にふさわしく、新しい試みに会員が一体となって挑戦をしたチャーターナイトとなり、偶然にもアメリカのRussellville DowntownロータリークラブとイギリスのVewwoodロータリークラブも同じ日に加盟認証され、生れながらのフレンドクラブとして、お祝いの交換をするなど、チャーターナイトに花を添え、国際組織にふさわしい第1歩をふみだしました。

式典は2会場にて開催され、第1会場の式典の様子を、第2会場へ映画のスクリーン大で映像を中継し、第1会場とは異なった式典を行い

お祝いを述べる高沢ガバナー



大野会長作詞のクラブの歌を披露

壇上の主役

ました。式典に先だって、両会場では、クラブ設立経過及び会員紹介をビデオに収録『翔けよ鵬』と題し、豊橋地区に於けるロータリークラブの発展と共に、豊橋ゴールデンロータリークラブの設立までの過程と設立に努力した人々を紹介、又フォーク調のクラブソング『かがやく空』の披露がなされるなど、ユニークな式典とすることが出来ました。

祝宴は3月の季節にふさわしく、会場は会員手造りの花見の宴に設営、演出がされ、料理も三河の珍味が数多く用意され、会場には豊橋在住の留学生31名も参加、参加会員と親しく会話を交し、祝宴に国際交流の輪を広げるなど実り多い認証状伝達式とすることが出来ました。

最後になりましたが、私共の認証状伝達式に多くの方々が、ご参加頂きました事に、深く感謝申し上げますと共に、よろしくご指導ご支援をお願い申し上げます。

“感謝します”と大野会長



和気あいあいのパーティー会場



ロータリーの世界に 2つの新しい国が加入しました。

アルーバとオーランド諸島が加わり、ロータリーの国および地理的地域の数は164に増えました。アルーバは、かつて、オランダ領アンチル諸島の一つの島で、カリブ海にあります。オーランド諸島は、フィンランド内の自治地域です。

ロータリーの機関雑誌第1号は 1911年に発刊されました。

ロータリーの機関雑誌の第1号は、1911年に発刊されました。12ページの創刊号には、ロータリー創始者のポール・ハリスのメッセージ、クラブ・ニュース、ロータリアンの数ページにわたる広告が載っており、発行部数は3,000部でした。

現在、50万以上の人人が、貴重なロータリー情報を得るためにばかりでなく、仕事や健康や旅行の参考のために、ロータリアン誌を読んでいます。4月は、新しいスライド、ロータリアン誌：ロータリーに注目（CD2-439-EN）を鑑賞する最適の時です。このスライドは、機関雑誌、スペイン語版のレビスタ・ロータリア、27のロータリー地域雑誌について描かれています。

ソウル国際大会について、ご案内

(1)会員書芸展に出品しませんか。

ソウル国際大会事務局より、大会中の友愛の広場に設営される“会員書芸展”に出品の要請が有りました。地区内の会員の皆さんの出品を要望します。

(2)FMラジオをご持参下さい。

ソウル国際大会では、同時通訳が行われますが、出来るだけ多くの皆さんにポータブルFMラジオを持参する様に、要請がありました。

ポリオとの闘争に大いなる進展

世界保健機構の発表によると、1988年は予防接種により、ポリオに感染しなかった子供達の数が、感染した児童の数を越えた初めての年度でした。この事実に対しまして、ロータリーの果たした役割を、大いに誇りとしてよいことで、現在ロータリーは、1990年をポリオ・プラス活動の新しい分岐点とするようパン・アメリカン保健機構と提携し、この年度までに米州全土からポリオを撲滅するよう献身的努力を続けています。このため、国際ロータリーのロータリー財団は現在支給されているポリオ・プラス補助金を追加増額し、現在なおポリオの感染者が報告されている米州内の国々にたいする特別「一掃」計画を援助することとなりました。これも、西暦2000年までに全世界からポリオを撲滅しようという究極的目標へ向かっての道を更に一步前進したことになります。

“文庫通信”(第7回)

今回は、文庫資料の中から、日本ロータリー創立期、米山梅吉氏に続く2代目ガバナーの井坂孝氏、ならびに3代目ガバナー村田省蔵氏に関する著書を6点ご紹介します。

「井坂 孝ガバナー月信」

1931年10月～1933年6月

「村田省蔵ガバナー月信」

1933年7月～1935年6月

「ロータリーを語る」

村田省蔵 R.I.第70区 1934年 74頁

「日本ロータリーの歌」

村田省蔵 1935年 12頁

「村田省蔵追憶録」

伊藤武雄 1959年 531頁

「村田省蔵の思い出」

伊藤武雄 [友]1963年6月号 3頁

地 区 だ よ り

岡崎城南R.C.が創立されました。

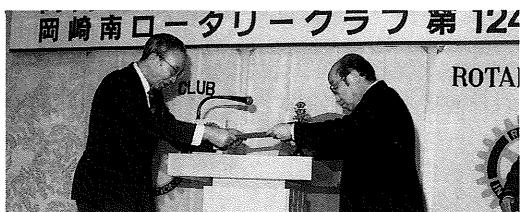
特別代表 中 村 繁 男
(岡崎南R.C.)

岡崎南R.C.は創立25周年を記念して、新クラブの結成をスポンサーすることになりました。これは高沢ガバナーの「拡大」への熱意が公式訪問のスピーチを通して、全会員の心を動かしたからに外なりません。あたかも岡崎市の人団が30万に達しようとしていること、豊橋ゴルフデンR.C.の結成されたこと、豊田・西尾において新クラブ結成の動きが兆していること等々が、アクションを早めさせる結果となりました。1988年12月2日の総会でテリトリー共有の上に、アディショナル・クラブを結成することが承認され、同時に各会員1名以上の候補者推薦を申し合われました。

かねてから、若い会員も出席しやすい夜間例会のクラブを作ることを考えていきましたので、その時間帯に応じ駐車に便利な会場を物色しました。幸いに、岡崎市関係者の理解を得て、岡崎市竜美丘会館「ローレライ」を例会場とし、毎週火曜日のPM6:30～PM7:30を定例時刻とすることに決めました。平成元年1月10日、15名のキーメンバーと岡崎南R.C.常任準備委員会メンバーとの発起人会を開き、2月7日の火曜日から4週連続準備例会を開くことを決定しました。準備例会の出席率は極めて良好で、メーキャップなしの90%以上を続けることが出来ました。

創立総会は3月7日、名鉄岡崎ホテルで、高沢ガバナー、中根岡崎市長外、近隣クラブ会長・幹事を来賓として盛大に行われました。当日の新クラブ会員の欠席はチャーターメンバー51名中、海外出張中の1名だけでした。

高沢ガバナーは平成元年の地区として、最初の新クラブ、夜間例会、平均年令46.22才の若さ



R.I.加盟申請書を高沢ガバナーに手渡す中村特別代表

のあふれるクラブ、の3つを特徴としてあげられました。地区内ロータリアン各位の御声援をお願いする次第です。(3月22日付で、R.I.より承認された旨の連絡が有りました)。

名古屋第2分区新入会員講習会を開催

名古屋第2分区代理 蜂 谷 弘 道
(名古屋和合R.C.)

平成元年3月7日、名古屋国際ホテルに於いて名古屋第2分区新入会員講習会を開催致しました。本年の名古屋第2分区I.G.F.に於いて、ロータリアンの教養講座として、浅利慶太氏の講演を、及びロータリーライフを楽しくするための会員の討論、並びに親睦を主体と致しましたので、新入会員の教育はできませんでした。従って新入会員の教育は名古屋名東ロータリークラブにホストして頂き、大熊会長を中心としたスタッフの方々にお願い致しました。

講習会の当日は、新入会員52名並びにスタッフの方々12名合計64名で、名東ロータリークラブ独自にお作りになった教本をもとに講習が行なわれました。クラブ奉仕・岡本縷二元会長、職業奉仕・中島一元幹事、社会奉仕・水谷稔元会長、国際奉仕・坂本精志元幹事、ソングリーダー・横江佳憲会員それぞれの講師のもとに、わかり易い楽しいロータリークラブについて、いろいろご指導がありました。

とくに、ソングリーダーの横江氏はROTのソングを楽しく教えて頂きました。講習終了後、名東ロータリークラブのご好意で楽しい懇親会を1時間ほど行ない閉会致しました。

新入会員の感想と致しましては、このように分区に於いて同期生の会合があることは、より親しみを感じて有効であると申されておりました。



新入会員講習会会場

地区委員会報告

アジア第1・第3ゾーン
ローターアクト研修会が開催されました。

地区ローターアクト委員会

委員長 中根比呂志
(岡崎R.C.)

3月4日(土)、5日の2日間にわたって第2回国際ロータリーアジア第1・第3ゾーンローターアクト研修会が、主催R.I.第259地区の新横浜メモワール玉姫殿に於いて、当地区ローターアクトクラブホストによって開かれました。「夢を希望をそして行動を!!」をテーマに掲げ、日本全27地区よりロータリーの地区代表、地区幹事、地区代表ノミニー等約120名が参加し第259地区谷口栄ガバナーの御指導のもとに地区R.A.委員長山本淳正君の協力と地区R.A.代表宮崎哲朗君、直前地区代表栗原宏之君がリーダーをつとめ有意義で盛会裡に2日間の研修会は終りました。第276地区からも古賀地区代表と幹事尾野君が参加勉強しました。

特に印象が強かつたのは本年より国際ロータリーがローターアクトの方針を大幅に改正しましたので(ロータリーの友3月号御参考)この結果R.A.C.にクラブレベル、地区レベル、国際レベルでより多くの責務を与えると共に、専門知識開発と指導力研修の推進を目指すという新らしい重要項が織り込まれることになり、R.

A.C.とロータリー地区ガバナー並びにR.I.会長(国際ロータリー)との交流が強化されることなど、その周知徹底化と対策について熱心に協議されたことです。ローターアクト諸君は勿論ですが、出席の50余名のロータリアンも午後シンポジウム後、開かれた懇親パーティのち8時から10時までロータリアンだけの集まりがあり、意見交換が活発にされました。その中で、各地区ロータリアンとともにR.A.C.の会員増強とクラブ活性化のためロータリーの指導はR.A.C.の例会その他の重要な行事には従来通り出席していくことが良いとの結論でした。

又、翌5日教育評論家濱川栄太先生による「若い日本人の心」と題する記念講演は、教育制度の改革の必要性を述べて、これから21世紀を背負って立つ子供のためにローターアクター諸君も、これから何が必要で大切であるかを感銘深く聴いた事と思いました。

又本年よりR.I.会長によって指命されたR.I.ローターアクト委員会委員木村憲(船橋西R.A.C.)君が出席したことでも特色で始めてのことでした。この委員はR.I.会長に対して直接R.A.C.に関する意見を述べることの出来る委員で、来年度は島田博也(R.I.268地区兵庫)君が決定されて紹介もありました。

以上来年は熊本で開くことを決定して会は閉じられました。

地区世界社会奉仕委員会報告

地区世界社会奉仕委員会

委員長 水野勝之
(名古屋北R.C.)

タイ国第336地区にての世界社会奉仕(W.C.S.)について報告致します。

地区内の全ロータリアン1名1千円宛拠出された浄財(合計約5百万円)は今年度も北381・380地区の他、タイ国の東北部336地区内での現地ロータリー活動にも約108万円の寄贈を行い、W.C.S.活動に役立て居る事を報告致します。

去る1月26日~31日の6日間、私始め安藤幸治、杉浦三郎両地区委員と赤津前年度委員長の4君が自費でコンケン市(バンコック東北700*)にての336地区地区大会に出席、その北30*のナンポン病院、更に120*北のウドンタニ市のロータリー村等を訪問、タイ国ロータリアンの熱心な奉仕活動の実情、素朴な心暖まる人間愛等に

触れ、最も適切な11件のプロジェクトを厳選の上、W.C.S.を実施して参りました。

比国同様、政府の力の及ばない貧困者が多く、又甚しい低収入と物価の低さに依り、日本円の価値は十分に活用出来ました。今後、現地ロータリアンを通じ、これら奉仕の芽は大きく成長すると信じます。又、名古屋東南・名古屋南・半田の各クラブよりも336地区にてW.C.S.を実施されました。

ナンポン市のナンポン病院訪問



クラブだより

名古屋守山R.C.25周年特別記念行事

名古屋守山ロータリークラブ

会長 富松 宗富

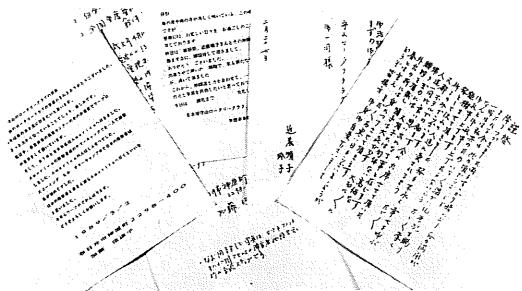
第1部記念行事として、名古屋守山R.C.は去る2月25日に地元守山区にある、東谷山フルーツパークに創立25周年を記念し会員数88名にちなんだ88本のシダレザクラを寄贈植樹しました。

京都の円山公園のシダレザクラにちなみ「地元に第2の円山公園を」と願いを込めて10年前の15周年記念にも100本のシダレザクラを記念植樹しました。重ねての寄贈に対してこの日、市農政局より感謝状を戴きました。

当日、フルーツパーク会場にて富松会長より大山邦雄、市農政緑地局長に目録を贈呈、植樹には、雨の中地元の重度身体障害者で「涙なんかいらない」を出版した近藤順子さんが車イスの仲間6人と共に招かれ、シダレザクラの幼木に母親の介添をうけて土をかけました。

「我がサクラ、共に生きよういくとせも」という順子さんの詩を標柱にして「ふれ合いザクラ」と名付けました。この広場が近い将来見事な花を咲かせ、この先、永い年月にわたって多くの人々の心を潤す広場となることでしょう。

この後第2部の記念行事として、都ホテルに於いて「近藤順子さんとその仲間を励ます会」が白石清吉郎実行委員長の開会の辞で始まり、出版社代表稻垣喜代志氏の御援助と多くの報道寄せられた礼状の数々



手植えのシダレ桜(東谷山フルーツパーク)

機関の御協力で感銘深い催しになりました。

ボランティアサークル「ジェリアン」のお仲間や元養護学校教師杉浦輝子さん、児童文学学者浜木健作さんらの、温かく心に染みるお話を伺い、身障者の方々が、明るく、たくましく、朗らかに生きていられる姿に会場の皆様は深い感銘を受けたようです。

ひき続き同会場で、25周年記念夜間例会が行われ、高沢ガバナー、蜂谷第二分区代理、星野守山区長他、地元の区政代表者並びに地区R.C.会長が多数出席して楽しい実のある記念例会を行いました。星野守山区長より「一日老人給食サービス」「子供会への援助」「ボランティアサークル指導者の米国研修派遣」等に対し、深い感謝の辞を述べられました。高沢ガバナーからは御自身の経験を基に、障害者に対するご理解と温かい思いやりのあるお言葉を戴き、来月はポリオ月間であることを指摘されました。

最後に蜂谷第二分区代理からは、88本のシダレザクラはハチヤとも読めるので、とても嬉しいというジョークで会場の爆笑をさそった後、地区の出席率向上に当クラブが大変寄与されたことへの御礼と、今後は国際奉仕にも期待したいというお話が述べられました。ささやかながらも温かいぬくもりのある名古屋守山R.C.25周年記念例会はここに終了しました。

「地球を緑でつつもう」と
緑化推進運動を展開しています。

尾張中央ロータリークラブ
会報委員長 犬 飼 廣

尾張中央ロータリークラブでは、今年2月27日(月)に、社会奉仕委員会の担当で、緑化推進運動“地球を緑でつつもう”を実施致しました。

西春日井郡師勝町の訓原中学校と西春町の五条小学校へ、サツキ110本、ヒラドツツジ110本を寄付し、生徒と会員多数が一緒になって、約2時間かけて植樹を致しました。

これらの樹が、子供達と共に大きく成長する事を願って会を終了しました。

子供達との植樹風景



あまR.C.創立20周年記念式典を開催

あまロータリークラブ
会長 小島 力

昭和44年6月津島R.C.をスポンサーに誕生しましたクラブは、創立20周年を迎える3月5日名鉄グランドホテルにおいて記念式典を開催しました。

高沢ガバナーはマニラの地区大会へご出席で地区幹事石川和昌君、パストガバナー森泰樹君、第345地区パストガバナーフィリップライ君、海部郡町村会長佐藤清一氏外多数のご来賓と海外3クラブを迎えて国際色豊かに厳粛の中にも和やかな式典となりました。

記念事業は県立弥富野鳥園の要望に応え視聴

覚器材と記念植樹を寄贈しました。器材は大型テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、ビデオテープ、大型双眼望遠鏡2台等で訪れる幼児、学生の野鳥観察に役立つことを期待します。本年は蟹江町100周年にあたり、その記念事業に協賛する外後援継続中の海部地区中学校吹奏楽連盟には「ヤマハコンサートマリンバ」を寄贈しました。

式典のハイライトは海外クラブとの提携調印にありました。当クラブは1981年5月国際ロータリー第345地区香港九龍北R.C.と最初の姉妹クラブ締結の調印を行い、以来相互の訪問を通じて国際交流と親善を深めてきました。これを機会に更に発展する為の再調印を行い、引き続き第348地区汐止R.C.と友好クラブ提携の調印を行いました。調印式は満場の見守る中各クラブ国際奉仕委員長立合いの上夫々の会長が調印を終り堅い握手で友好促進を誓いました。定刻式典を終り第二部記念祝宴にも来賓祝辞の後、丹下特別代表の乾杯で祝宴は盛上り特にランチョンスピーチはこの毎の汐止R.C.との友好提携に仲介の労をお願いした永和R.C.元分区代理・パスト会長の蔡嘉禾氏の日本語による祝辞が印象に残りました。

この後、小出・浅野会員のお嬢様による日本舞踊で花を添え定刻差なく祝宴を終りました。

あまR.C.は20周年の成人を迎えたとは云え、多くの課題を抱えています。ご来賓の励ましのお言葉を体して更なる前進の為会員一同心を新たにし、記念行事の総てを終しました。

創立20周年記念式典会場



創立満20周年を迎えた
ありがとうございました

名古屋東南ロータリークラブ
会長 堀田一郎



創立20周年記念式典(記念演奏会)

おかげさまで、わがクラブは創立満20周年を迎え、3月9日名古屋ヒルトンインターナショナルで記念式典を催しました。知事と市長が忙しいなかを縫ってご出席いただきました。また高沢ガバナー始め元ガバナー、次期ガバナーそして岩田特別代表らの来賓を迎えて、さらに名古屋の各ロータリーの会長、幹事諸氏もお祝いにお顔をそろえていただきました。

また、わたしがマスコミの一員であることから、新聞、放送のトップが招待に応じていただきました。

式典では南、緑両区長の前で、あらためて大高緑地公園への「友愛の庭」の目録を知事さんにお渡しし、また関係警察と消防への寄贈と新しく記念に発足する社会奉仕基金「グリーン」基金の設置を発表しました。

つづいて記念演奏会に入りました。松尾葉子さん指揮の南山メイルクワイアの合唱、河津めぐみさん伴奏の池田京子さんのソプラノ独唱はおなじみ深い曲目がならび、深い芸術のエッセンスに酔いました。財団寄付率が非常に高いことを背景に、わがクラブはすばらしい奨学生を海外に派遣してきました。だからこそできた演奏会でして、わがクラブの式典に非常に特色ある華をそえる結果となりました。

そしてディナーパーティ。本当に忘れられない夜でした。

わがクラブの今日あるのは、関係の皆さまの御指導と先輩会員の御努力の結果でして、この

機会に、もう一度深い敬意と感謝を捧げるものでございます。最後にここ3年来、この式典のために献身されました熊谷勝本委員長、近藤信治、鈴木敦雄両副委員長、下郷弥太郎アドバイザーらの20周年記念行事実行委員会の労苦に、身内のことですが、お礼を申しのべます。

クラブ創立35周年を迎えて

刈谷ロータリークラブ
会長 野村重彦



我が国が戦後の混乱を脱し漸く自立の道を歩み出した昭和29年春、私共のクラブは地区内8番目のロータリークラブとして誕生致しました。

当時、名古屋ロータリークラブをスポンサークラブに仰ぎ、石田退三氏を初代会長に頂き24名のチャーターメンバーにて発足し、ロータリーの奉仕の理想を求め輝かしいスタートを切りました。

以来、先輩会員の絶えざる努力により多くの有意義な奉仕活動及び記念事業が行われ、その結果、昭和34年には碧南ロータリークラブ、昭和43年には高浜ロータリークラブが誕生致しました。そして今年はこれらの集大成とも云うべき国際ロータリー第276地区地区大会のホストクラブと云う重責を担う事となり、来会される地区内外のロータリアンに忘れ難い思い出を作る意義ある大会にしたいと念願して居ります。

去る3月13日開催の創立記念例会には高沢ガバナー始め地区役員、会長の方々の御臨席を戴き楽しい一時を過ごすと共に来たるべき地区大会成功に向けて最後のスパートを掛けるべき決起集会として意義深く終る事が出来た事は望外の喜びでした。

第276地区 出席報告 1989年3月分

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数			分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				63年 7月1日	当月	増減					63年 7月1日	当月	増減
尾張第一分区	知多	100.00	4	34	38	+4	西尾張分区	あま	99.71	4	87	85	-2
	半田	98.12	5	70	70	0		尾西	95.00	4	57	59	+2
	半田南	98.69	3	52	53	+1		一宮	98.11	4	95	99	+4
	東知多	97.73	4	48	49	+1		一宮北	93.42	5	87	83	-4
	常滑	97.87	5	59	59	0		稻沢	99.31	5	58	59	+1
	東海	95.40	5	57	56	-1		西春日井	97.39	4	61	65	+4
	計	97.97	/	320	325	+5		尾張中央	100.00	5	44	42	-2
名古屋第一分区	名古屋	95.40	3	221	235	+14		津島	99.72	5	88	86	-2
	名古屋南	100.00	5	125	128	+3		計	97.83	/	577	578	+1
	名古屋港	100.00	5	111	121	+10		渥美	92.08	5	61	63	+2
	名古屋瑞穂	100.00	5	79	84	+5		蒲郡	98.27	5	79	80	+1
	名古屋中	99.81	4	131	136	+5		奥三河	90.60	4	50	50	0
	名古屋西	96.39	5	153	161	+8		新城	95.18	5	52	54	+2
	名古屋大須	97.65	5	79	86	+7		田原	98.16	5	82	79	-3
	名古屋東南	100.00	5	86	92	+6		豊橋	100.00	5	126	124	-2
	計	98.66	/	985	1,043	+58		豊橋北	99.37	3	117	115	-2
	名古屋千種	98.81	3	54	59	+5		豊橋南	99.66	4	80	80	0
	名古屋東	99.08	4	110	113	+3		豊川	94.57	5	80	83	+3
	名古屋北	99.80	5	100	105	+5		豊川宝飯	92.95	3	50	53	+3
名古屋第二分区	名古屋名北	98.70	5	59	63	+4		豊橋ゴールデン	100.00	5	—	53	+53
	名古屋名東	100.00	3	71	73	+2		計	96.44	/	777	834	+57
	名古屋守山	99.40	4	89	89	0		安城	100.00	5	79	83	+4
	名古屋和合	100.00	5	98	102	+4		碧南	99.48	5	77	82	+5
	計	99.40	/	581	604	+23		一色	99.60	5	54	50	-4
東尾張分区	犬山	100.00	3	79	84	+5	三河第二分区	刈谷	100.00	4	89	98	+9
	岩倉	98.24	3	38	40	+2		西尾	100.00	3	84	84	0
	春日井	100.00	5	86	88	+2		岡崎	100.00	5	95	103	+8
	小牧	99.15	5	71	71	0		岡崎東	100.00	5	73	75	+2
	江南	99.27	5	72	75	+3		岡崎南	100.00	5	85	90	+5
	名古屋空港	99.65	4	63	72	+9		高浜	100.00	3	48	50	+2
	尾張旭	98.93	5	53	56	+3		豊田	99.31	5	93	95	+2
	瀬戸	99.25	5	78	83	+5		豊田東	98.66	5	73	75	+2
	瀬戸北	100.00	3	58	57	-1		豊田西	98.27	4	100	98	-2
	豊山城北	98.09	3	74	73	-1		岡崎城南	99.35	3	—	51	+51
	計	99.26	/	672	699	+27		計	99.59	/	950	1,034	+84

地区内クラブ数 63 R.C.

'88.7.1会員数 4,862名

増加会員数 281名

当月末会員数 5,117名

減少会員数 26名

当月平均出席率 98.47%

差引純増会員数 255名



新ホールハリス・フェロー

1月分

(2月末現在、ガバナー事務所判明分)

氏名	所属R.C.	氏名	所属R.C.
安保 寛(知多)	加藤 鎮(岡崎東)		
野崎 洋二(名古屋瑞穂)	浜田 武(名古屋瑞穂)		
加藤 博之(名古屋瑞穂)	都築 勝(半田)		
永井 練(知多)	春日 文明(名古屋和合)		
國分 孝雄(名古屋和合)	町田 重夫(名古屋和合)		
堀田 日夫(名古屋和合)	吉田 正克(名古屋和合)		
豊田 稔(豊田東)	梅村 正(豊田東)		
林 恒夫(豊田東)	天野 孝之(名古屋空港)		
市川 孝(名古屋空港)	伊藤 幸調(名古屋空港)		
板倉 義夫(名古屋空港)	鎌倉 武男(名古屋空港)		
神戸 初治(名古屋空港)	小出 幸郎(名古屋空港)		
水野 栄一(名古屋空港)	野口 兼三郎(名古屋空港)		
横江 祥文(名古屋空港)	吉田 則明(名古屋空港)		
福井 恒雄(豊橋)	松井 哲(名古屋南)		
鈴木 隆彦(蒲郡)	余合 環(名古屋中)		

豊川郷土玩具

豊川張り子
小坂井風車
国府土人形
豊橋R.C.会員
成田 嘉則
(成田記念病院理事長)

初午は2月に入つて初のうまの日で日本全国のお稲荷様の祭礼日で、初午、節分、立春と春待つ心のトップをきる祭りの縁日に稲荷神の使いといわれる狐のおもちゃが人気で狐の張子面はスター的な存在である。

豊川稲荷は日本三大稲荷の一つで全国各地から参詣する信者は参道で狐面を求め持ち帰って除厄開運の守り護符とした。額に金まき絵の宝珠が画かれているのが特色。作者は豊川市当古町の面武五代目内藤武人さんで150年の伝統を守り昔ながらの秀作を作っている。『パックリ』と云う獅子頭ふうで口がパクパク開く張子きつねがあり全国でも珍らしい。他に張子天神がある。

● 萱足神社の風車 鐘馗面

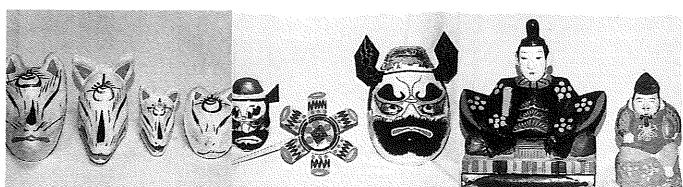
豊橋市近郊の小坂井町の萱足神社の4月の風祭りには風車と張子の鐘馗面が境内で売られる。風車は絞木製で米俵をかたどった6枚の羽根と後ろに小石の入った黄色い紙筒があり風をうけるとカラカラと軽快な音をたてて廻る。六俵(ムビヨウ)無病息災で仕事が廻り金廻りが良くなると戸口に挿しておく。

鐘馗面は、風神にちなんだもので悪魔退散、商売繁盛、福寿増長のシンボルとして珍重されている。作者は三河張子の名人豊田里美さん(豊橋市花田町小松)である。

● 国府土人形

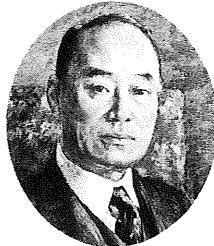
天神は首が太く、顔は童顔でほとんどが黒天神、その他二福神、歌舞伎物人形など

作者は藤井末吉さんで豊橋土人形の作者吉田孫吉の弟子で大正12年から昭和12年まで作られた。販売先は愛知県東部が主である。



氏名	所属R.C.	氏名	所属R.C.
佐藤 五郎(名古屋)	岡村 潔(碧南)		
長坂 甫(碧南)	水谷 勉(小牧)		
石田 秀翠(名古屋和合)	今井 善六(豊田東)		
村松 豊(豊田東)			

2月分 森 幸一(あま)



新米山功労者

2月分

(2月末現在、ガバナー事務所判明分)

氏名	所属R.C.	氏名	所属R.C.
横井 吉助(名古屋)	安藤 幸治(名古屋空港)		
神戸 初治(名古屋空港)	小出 幸郎(名古屋空港)		
加藤 五郎(瀬戸)	須見 興太(豊橋)		

新マルティブル・フェロー

氏名	所属R.C.
大沢 喬圭(名古屋北)	

5月の地区及び地区内の主な行事予定

- 5月12日(金) 岡崎南R.C.25周年
- 5月13日(土) 東海R.C.20周年
- 5月13日(土) 次年度分区代理・地区委員長会議
(名鉄グランドホテル)
- 5月13日(土) クラブ会長エレクト研修セミナー
(名鉄グランドホテル)
- 5月14日(日) 東知多R.C.20周年
- 5月19日(金) 名古屋北R.C.30周年
- 5月27日(土) 第6回地区諮問委員会
(ホテル ホリデイ・イン豊橋)
- 5月27日(土)～28日(日) 地区協議会
(ホテル ホリデイ・イン豊橋)
- 5月21日(日)～24日(水) 国際大会(ソウル)

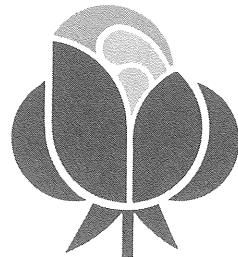
計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

3月19日 佐々木武宏君 (あまR.C.)

3月22日 山本茂夫君 (豊橋南R.C.)

3月22日 平松一道君 (名古屋R.C.)



健 康 に 一 言

“よい眠りを獲得しよう”

「若い頃は一度眠ったら仲々目が覚めなかったものだが、この頃はちょっとした物音で、すぐ目が覚めてしまう」とお感じの方は沢山あると思います。かく云う私も、もうすぐ還暦と云う年ですから、物音に目ざとくなっているくせに、昼間はうとうとなりがちで困っています。

若い人の眠りとお年をとった人の眠りのリズムは質の点で異っています。眠りには、体は眠っているが脳は起きていると云う「ノンレム睡眠」と体も脳も眠っていると云う状態の「シンレム睡眠」とがあります。

ノンレム睡眠中に現われる脳波のデルタ波を調べますと睡眠の深さがわかります。デルタ波の出現頻度が高いと眠りが深いと云う事になります。20代の若者はデルタ波が高頻度で、しかも同期性をもって現われますが、年令を重ねるにつれて、デルタ波の出現頻度はだんだんと低くなり、60才以上になると同期性もなくなってしまいます。このことからお年寄

りは、寝ついてから目覚めるまで眠りが浅いことがわかります。したがってお年寄りが若者と同じくらいの睡眠時間しかとっていないとなると、当然寝不足になってしまいます。だからよくコックリコックリと居眠りをするわけであります。(例会でも時々見られる風景ですね。)

お年寄りの眠りが浅いのは昼間の活動と関係があります。屋外で体をよく動かしている人は、家の中でじっとしている人と比べると眠りが深くなり、日中も余りコックリをやらないようです。

よい眠りを獲得し、昼もうとうとするようなく、活発に仕事が出来るためにも、日中はできるだけ屋外で体を動かしてほしいものです。

森 澄地区副幹事
(森外科院長)